



大市建第 223 号
平成 19 年 5 月 9 日

国土交通省道路局長殿

大口市長 隈 元



中期計画作成に伴う意見書

道路整備につきましては、かね日頃より格段のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。また、本市を經由いたしております国道 267 号、268 号および国道 447 号の整備促進につきましても、木ノ氏バイパス及び真幸トンネル等の採択を賜り国土交通省をはじめ関係者皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

本市の地形は九州山地に囲まれた盆地で、三本の国道が交叉する道路の要衝の地でもあります。山間部においては冬期の凍結や豪雨期の土砂崩壊等によります、交通止などで孤立化する事態がしばしば起きている状況であります。

また、平成 18 年の豪雨災害時には低地の道路が冠水し、通行止による物資の輸送停滞が生じ生活物資の流通に支障をきたした経緯もあり、本市といたしましては「災害に強い道づくり」として下記のことを要望いたします。

記

- 1・低地の冠水対策など緊急輸送用道路の重点的な整備確保。
- 2・幹線道路と生活道路との区分整備（大型自動車等通過型車両の区分）。
- 3・冬期の山間部凍結対応策としてのトンネル等の整備促進。
- 4・道路特定財源の確保。